

第2学年1組 音楽科学習指導案

平成16年6月11日(金)

指導者 本倉 敬之

1. 題材 オークストラの響き

2. 目標

- (1)様々な楽器で編成されているオーケストラの豊かな響きに興味を持たせる。
- (2)鑑賞を生かし、音楽に合わせて指揮を振る技能を養う。
- (3)ソナタ形式における各部分、楽章ごとの曲想の違いを感じ取る能力を育てる。

3. 教材

主教材	交響曲第5番 ハ短調 作品67	L. v. ベートーヴェン作曲
-----	-----------------	-----------------

4. 指導観

- 本教材は、1808年に完成した。全楽章を通じて緊密な構成で作曲されており、主題展開の巧妙な技法など、作曲者の深い想像力を見ることが出来る曲である。現代の音楽は、マルチメディアやコンピュータの普及により、音楽の構成、技法などの多様化が急速に進歩している。そのため、生徒が普段耳にしている音楽も、そのようなジャンルのものが多く、古典などのクラシック音楽はあまり聴かないようである。本題材においては、ソナタ形式などの音楽の形式における曲想の変化、鑑賞をもとにした表現工夫の能力を身に付けさせるために、本題材を設定した。
- 本学級（男子16名、女子21名）は、生活面においては、学習態度が真面目であり、とても明るく活動的な生徒が多い。音楽の授業においても、合唱の声質がそろわなかったり、時々集中力が途切れたりすることがあるものの、合唱のときは元気よく歌い、鑑賞においても真剣に音楽を聴いている。しかし、表現と鑑賞を関連付けて表現を工夫しようとする態度があまり見られない。また、他の学級にも見られるように、積極的でなく、自分の意見を進んで発表する生徒が少ない。学級全体が、自分から発表しようという雰囲気になっていないことが原因の一つとしてあるようだ。今後は、表現と鑑賞を関連付けた授業を通して、鑑賞をもとにした表現、表現をもとにした鑑賞が出来るように、少しずつ指導していくことが必要である。同時に、音楽の授業全体を通して、積極的に自己を表現できる能力を養うことが必要である。
- 本題材のねらいを達成するために、ソナタ形式や楽章の移り変わりにおける曲想の変化を理解させたい。そのために、指導者が作成した提示部(各主題)・展開部・再現部の冒頭のみを録音したカセットテープ、CDを取り扱う。鑑賞をもとにした表現の技法を身に付けさせるために、数人の指揮者による1楽章の冒頭部分の振り方を記録したビデオを取り扱う。鑑賞を通して、形式の変化における曲想の変化を理解する能力を身に付けさせたい。また、1楽章の冒頭部分の指揮をさせることによって、鑑賞をもとにした表現工夫の能力を身に付けさせたい。

5. 指導計画

教材 時間	1 時間目	2 時間目 (本時)	3 時間目
交響曲第5番	○ 作曲者の紹介 ○ 交響曲、ソナタ形式の説明 ○ 鑑賞(第1楽章のみ)	○ 前回の復習 ○ 指揮のビデオ鑑賞 ○ 指揮の体験(第1楽章冒頭)	○ 全楽章の鑑賞 ○ まとめ

6. 本時の目標

- 「交響曲第5番」の拍子に合わせて指揮を振り、音楽を体で自由に表現することが出来る。

7. 指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価方法)	資料・準備
導入	1. 学習のめあてを確認する。	○ めあての確認により、本時の授内内容を明確にさせる。		板書

	○ 「交響曲第5番」の拍子に合わせて指揮を振り、音楽を体で自由に表現することが出来る。			
展開	2. 前回の復習をする。 3. 指揮者の役割について説明する。 4. 指揮の基礎練習をする。 5. 「交響曲第5番」の冒頭を振ったビデオを見る。 6. 冒頭の指揮を振る。	○ 作曲者、編成などについて復習させるために、前回学習したことを発表させる。 ○ 発表が出やすいように、適宜ヒントを与える。 ○ 指揮者の役割、指揮をする方法、指揮者になるためにはどうすればよいか、ワークシートを使って学ばせる。 ○ 落としと撥ね上げを練習させる。 ○ メトロノームに合わせて、2拍子を練習させる。 ○ 冒頭の独特なリズムの指揮を、プロはどのように振っているか、ということを確認させる。 ○ 全員で、教師の歌に合わせて、出だしや拍のとり方を確認させる。 ○ 教師が一度実演をする。 ○ 教師のピアノに合わせて、自信を持って振らせる。	○ 意欲的に発表することが出来たか。 ○ 指揮者について真剣に学ぼうとしているか。 ○ 練習に真剣に取り組んでいるか。 ○ 真剣に鑑賞に取り組んでいるか。 ○ 意欲的に音楽を表現しようとしているか。	教科書 ワーク ワークシート 教科書 ワークシート ビデオ 楽譜 ワークシート 楽譜 指揮棒
終末	7. まとめをする。	○ 今回の授業内容が、次回からの鑑賞に生かせるように、まとめの話をする。 ○ 次回は全楽章鑑賞することを告げる。		

8. 板書計画

本時のめあて ・「交響曲第5番」の拍子に合わせて指揮を振り、音楽を体で自由に表現することが出来る。
2拍子の基本形